

2024/03/30(土)

だいぞうきょうじやま 大蔵経寺山 (山梨百名山) ~ ふかくさやま 深草山

メンバー:L 辻・福田・有賀・会員外 1

【コースタイム】 天気:快晴

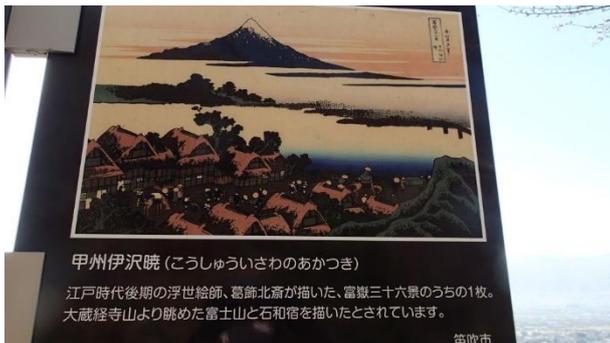
大蔵経寺山登山口 7:50~9:40 大蔵経寺山 9:55~10:50 深草山 11:35~
12:35 大蔵経寺山~13:40 駐車場

予定していた駐車場方面にはコーンが置いてあり通行止めとなっていたため、お寺の駐車場に停めさせてもらった。帰宅後調べたら桜祭りのため 30・31 日は登山者用駐車場までは通行止めとなっていた。



お寺のしだれ桜が満開 青空に映えてきれい！

お墓を通過しながら登っていくと獣避けゲートがありその左奥が予定していた登山口駐車場みたいだ。ゲートを開けて登山道を上っていくと「桜山にするために1000本の苗木を植樹している」とあり、山面の木を切って新たに桜を植林している様子。植樹用の苗木もたくさん育成中だった。



「甲州伊沢暁」 葛飾北斎

第一展望台には葛飾北斎がここで書いたと言われる富岳 36 景のひとつ「甲州伊沢暁」の絵が掲載されていた。しかしここから見える富士山は山頂の一部が盛り塩状態にちょこんと見えるのみ。絵とはだいぶ違う見え方で違和感あり。

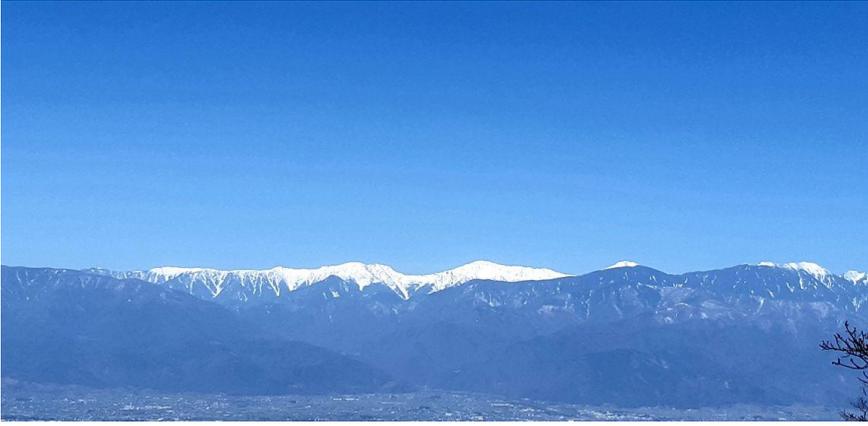


気温が一気に上がりゆっくりペースで歩いているのにやけに足が重い。低山だけど急登できつい。
樹木が芽吹く前の木立越しに甲府盆地の里の景色も良く見える。
大蔵経寺山 山頂 716m。景観無し。山梨百名山・甲府名山の標柱が離れて立っている。



←積石塚古墳群





防火帯のあたりで真っ白な荒川三山や白峰三山、甲斐駒ヶ岳が良く見えた。

深草山までは1時間余りだったが結構な急登の繰り返しで暑かったせいもあり疲れた。何度もにせピークにだまされた。ここも展望はあまり無く、地元の5人グループの方たちは、展望のある防火体帯あたりまで下って昼食にすると行って早々に下山。「草深観音までぜひ行ってほしい」と言われたが往復80分は残念ながらタイムリミットであきらめた。時おり吹く風が心地良く、ゆっくり休憩をとった。

ほぼ直登の下山は急坂で高度を下げるごとに暑さが増し、駐車場に着いたとたん夏日のような暑さにへたり込んでしまった。この日山梨は25～26度だった模様。下山途中の斜面にはスモモ畑の白い花が満開に咲き誇り、大根草、水仙など春が来たなあ！と実感。先週、今週と春を期待して来た山梨。今年は春の訪れがやけに遅い。やっとほころび始めた桜や桃。来週は一気に春爛漫となるのかも？！

ここは葉の茂っている時期は展望もなく面白みのない山に違いない。暑さも考えると登るのは新緑前のこの時期までだなあ！



ヒオドシ蝶(成虫で越冬した)



スモモ畑の花

【ヒオドシチョウ(タテハチョウ科)】

※初夏に発生した個体が同年の冬を越して次の春まで生きのび、その個体が産卵した卵から孵化した幼虫が成長して次世代の成虫が初夏に発生するというサイクルである。

日本では主にエノキを食樹とする。